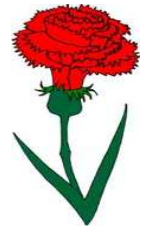


2005年度分のやまくら～ズ 最終号です。



一年間ご愛読(??)ありがとうございました。

前回のやまくら～ズからもうすぐ一ヶ月が経とうとしています。この間、交渉は引き続き要望を出しているんだけど、使用者側が構ってくれず、特に交渉を持ったわけでもなく、これといった話題もなかったの、長々と発行しないでいました。ただ、これは僕がサボっていたわけではなく、あくまでも使用者が交渉要求について解答してこなかったという事ですよ
事実まだ賃金交渉はまだ終わっていないんだよ。使用者は終わったと勘違いしているのかもしれないけどね。



現に今の大学運営(使用者の対応)については不満があるでしょう??。これは僕だけではないはずですよ。給与の問題でも役員の給与については「何%」の減額なのかもぜんぜん公表されていないでしょ。確かな事実は、新たに起用した理事以外の副学長へ 20%の管理職手当が新設されて出費が増えたことだけです。給与が減ったんで、手当等で補填するということであればいいんだけど、一部の職種だけってのもねえ…。この件については詳細が分かり次第書いていこうかなと思います。

それはそうと、なぜネタもないのに今回発行したかといいますと、今週 17 日に新執行部役員選挙がありまして、僕もとりあえずはお役御免ということですよ。そんなわけで 2005 年度分のやまくら～ズを一旦締めなあかんのですよ。# そうしないと次の担当者の方が書きづらいでしょ。

まあ、「青年の目線で」ということで始まったやまくら～ズも、結局は僕自身の目線で好き勝手書かせてもらい、一年間途絶えることなく発行することができました。なかには共感できない部分も多々あったかとは思いますが、そんな方は、どしどし組合に対して意見を言ってください。

何もしなけりゃ言われるがまま。何かアクションを起こすことで、初めて可能性が開けるってものです。

まあ、こういうことです。使用者の言うことを鵜呑みにしているだけでは、自分たちの労働条件の改善なんていつまで経ってもできないってことです。そして何も意思表示をしないのであれば、陰で文句を言う権利すらありません。おかしいことに関しては「おかしい」とはっきり意思表示をしましょう。来年度のやまくら～ズはどうなるのかわかりません。そんなことより青年層は自分たちの未来を見据えて大学と付き合っていきましょうよ。# 何書いてんだかねえ…。



とにかく一年間やまくら～ズにお付き合いいただきありがとうございました。



*最後、調子に乗ってマーク作っちゃった#ステッカーにでもしようかな

熊本大学教職員組合青年部機関紙
やまくら～ズ 発行 No.35 2006/05/19